



# SDGs・災害食大賞<sup>®</sup>2026

SDGs/Emergency Foods Award<sup>®</sup> 2026



(一社) 防災安全協会 General Disaster Prevention Safety Association

## 開催主旨 Purpose of holding

昨今日本では、地震や豪雨等の災害が頻繁に発生しており、災害食は避難者の生命を維持することのみならず避難者の明日からの生活不安を和らげることや避難所生活の楽しみと、その役割は重要なものとなっております。

また、平時においても消費者の役割として、普段の食品を少し多めに買い置きしておき賞味期限の近いものから消費し、消費した分を買い足すことで常に一定量の食品が家庭で備蓄されている状態を保つローリングストックが推奨されています。

災害時に適食と認められる食品、それらの製造工程等を有している企業に対し、評価をするものです。また、消費者に災害食の普及・啓発を促進させ、食品業界のあらゆる災害食に対する推進と理解を図るために、災害食大賞創設10年目を記念して「SDGs・災害食大賞<sup>®</sup>2026」を開催いたします。

---

**応募対象者** 災害食を製造している食品メーカー、商品の企画・開発を取り扱う商社

---

**主催** 一般社団法人 防災安全協会

**後援** 農林水産省 日本経済新聞社メディアビジネス 日本食育学会

**審査員** 高野克己 勝野美江 国崎信江 黒川勇人



高野 克己  
日本食育学会会長  
東京農業大学元学長



勝野 美江  
農水省大臣官房新事業・食品産業部外食・食文化政策情報分析官



国崎 信江  
危機管理教育研究所所長



黒川 勇人  
缶詰博士